

砂防関係施設点検要領（案）

補足資料 （地すべり編）

● 県版点検カルテ案の説明

■点検カルテ作成のあたっては、継続して使用していくことを前提に、客観的に評価できるようコメント及び写真撮影に留意すること。

■変状レベルの評価にあたっては、砂防関係施設点検要領に準じ、点検チェックシートを用い評価を行うこと。

■写真撮影にあたっては、前年度と同様に位置より、同様の画角で撮影し、経年的な変化が確認出来るよう留意すること。

■次頁、赤色吹き出しで示した事項については、事前に準備し、青色吹き出しで事項に留意し、カルテを作成すること。

県版点検カルテ案の作成(地すべり)①

ファイル構成

地すべりの点検カルテは下記に示すように、ブロックが区分されている箇所は、総括、各ブロックの点検個票を作成する。

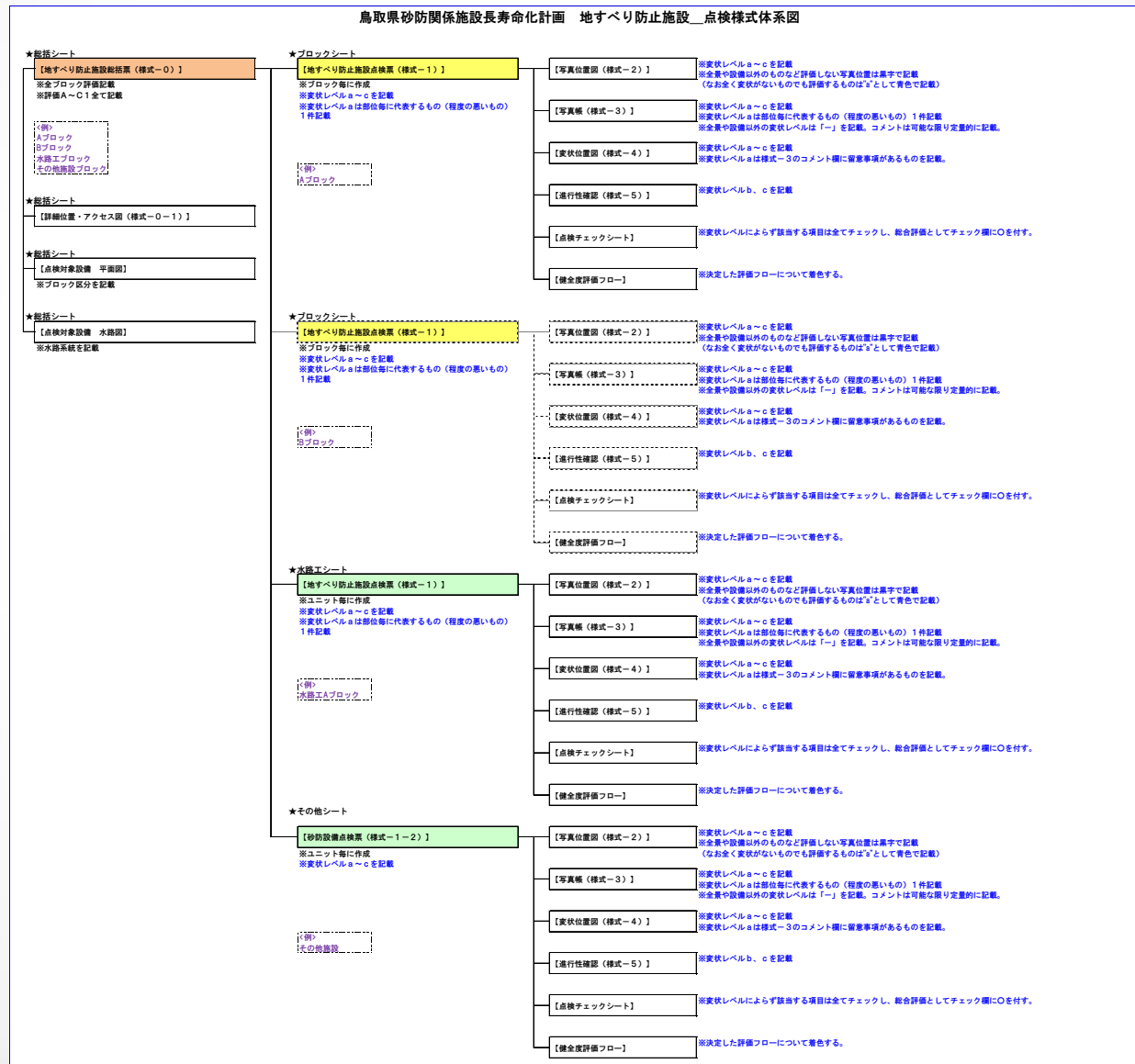
名前	更新日時	種類	サイズ
01覚寺_点検総括.xls	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel 97...	3,924 KB
02覚寺_点検個票_A-1ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	6,000 KB
03覚寺_点検個票_A-2ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	7,205 KB
04覚寺_点検個票_A-3ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	9,506 KB
05覚寺_点検個票_A-4ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	13,068 KB
06覚寺_点検個票_A-5ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	7,003 KB
07覚寺_点検個票_A-6ブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	7,054 KB
08覚寺_点検個票_Dブロック.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	3,274 KB
09覚寺_点検個票_その他施設.xls	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel 97...	4,120 KB
10覚寺_点検個票_水路工A.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	12,536 KB
11覚寺_点検個票_水路工B.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	15,515 KB
12覚寺_点検個票_水路工C.xlsx	2017/03/14 16:41	Microsoft Excel ワ...	14,487 KB

ブロックが区分されていない箇所は、総括、点検個票の2ファイルを作成する。

名前	更新日時	種類	サイズ
01家の谷_総括.xlsx	2016/06/09 16:34	Microsoft Excel ...	1,479 KB
02家の谷_点検個票 .xls	2016/06/09 20:24	Microsoft Excel ...	79,578 KB

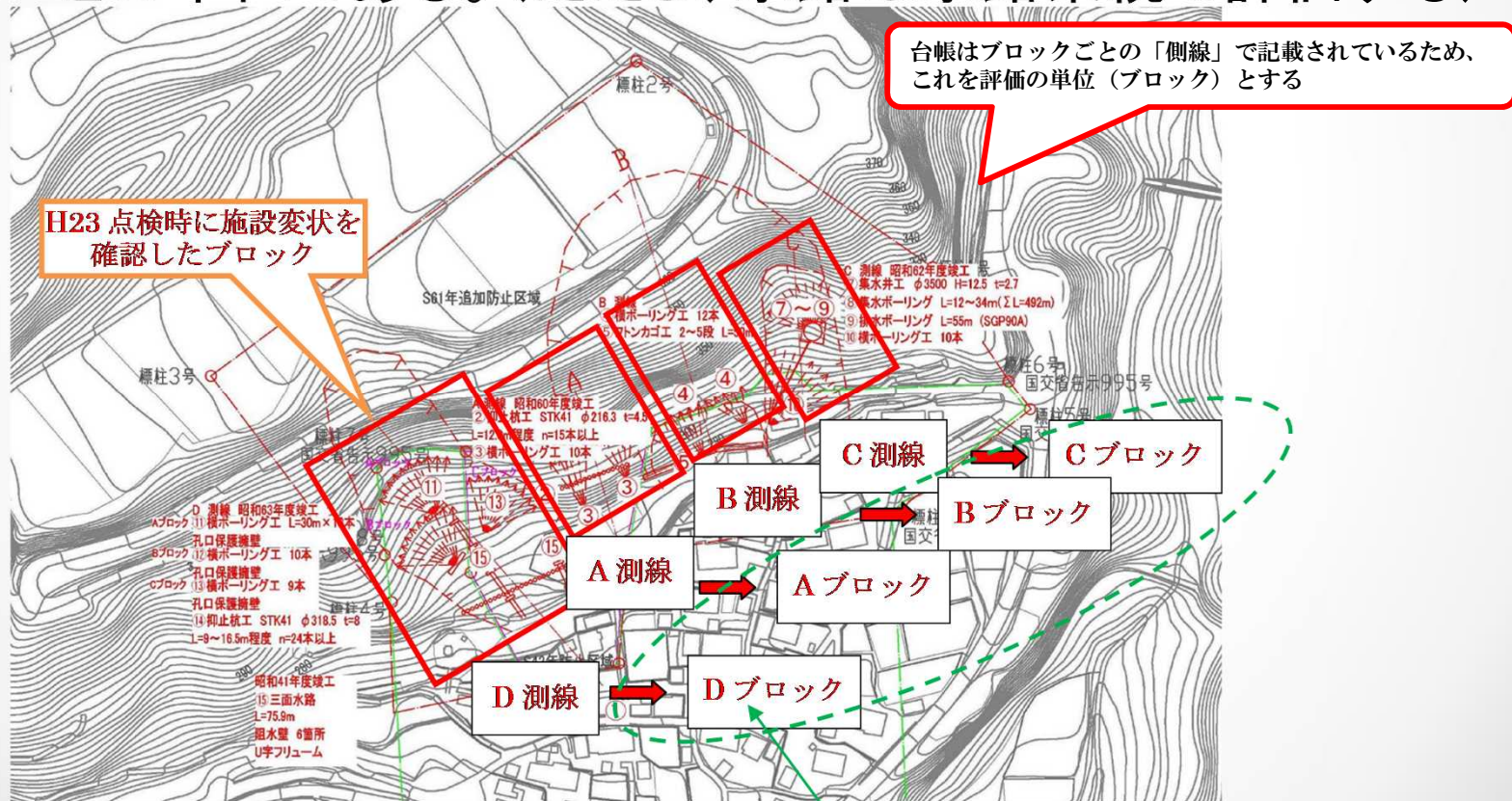
県版点検カルテ案の作成(地すべり)①

ファイル構成



県版点検カルテ案の作成(地すべり)② ブロックの考え方

地すべりの点検はブロックごとに評価を行う。
ブロックとは、下記に示すような、台帳に記載されている測線ごとの単位である。(ただし、水路は水路システムで評価する)



＜地すべり防止施設の例：西部県土 伯耆町大坂＞

県版点検カルテ案の作成(地すべり)③

各ファイルの記入

各ファイルには下記の事項をとりまとめる。

①総括ファイル(点検総括 総括シート)

:各ブロックの点検結果総括および周辺状況の整理

②点検個票(各ブロック、水路工、その他施設シート)

:各ブロックの点検結果及び水路系統等の点検結果

①総括シート (様式-0) 1

※全ブロック評価を記載
※評価A~C1、A'~C1'
全て記載

国土地理院発行の2
万5千分の1地形図
等の位置がわかるも
のをを用いること。

同一ブロックが存在
するか事前に確認し
ておくこと。

台帳に記載の測線ご
とにブロックを設定。
種別は台帳と整合さ
せること。

砂防設備総括票(様式-0)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

点検日時: 平成28年11月28日



点検者: いであ(株) 浅利

記入者: いであ(株) 浅利

点検日時、所属、点検者
及び記入者を記載するこ
と。

所在地			所管事務所	備考
市・郡	区・町・村	字		
鳥取市	覚寺		鳥取県土整備事務所	

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

位置図	写真
	
東経 134° 14' 08"	北緯 35° 31' 36"

全景写真を掲載する
こと。

点検総括

No	ブロック	種別	施設健全度評価結果				ブロック健全度評価		備考
			前回点検		今回点検		前回	今回	
			年月日	評価	年月日	評価			
1	A-1	2.集水井W-2	H23.12.13	B	H28.11.29	C2'	C2	扉の開閉不可	
2	A-2	14.集水井W-4			H28.11.30	C2'	C2	扉の開閉不可	
3	A-3	19.横ボーリング			H28.11.30	A'	B	導水管破損 水路の腐食他 水路の土砂堆積	
		21.横ボーリング			H28.11.30	B'			
		24.ブロック擁壁			H28.11.30	B'			
		26.山腹暗渠DD-1			H28.11.30	A'			
4	A-4	27.横ボーリング			H28.11.29	A'	B	水路の腐食他 導水管破損 水路の腐食他	
		29.横ボーリング			H28.11.29	B'			
		32.横ボーリング			H28.11.29	B'			
		35.山腹暗渠DD-2			H28.11.29	A'			
		37.フシカゴ			H28.11.29	A'			
5	A-5	63.フシカゴ			H28.11.29	A'	B	集水樹の 土砂堆積	
		38.横ボーリング			H28.11.29	A'			
		40.横ボーリング			H28.11.29	B'			
		43.井桁擁壁			H28.11.29	A'			
		44.山腹暗渠DD-3			H28.11.29	A'			

健全度評価フローに準じ、
当該点検結果に基づく施設
の健全度を記載。
地すべりブロックに関係す
る施設はブロックごとに評
価を実施。

A' 評価も含めすべて記
載すること

①総括シート
(様式-0) 2

その他施設は個別に評価を行う。ブロックの評価は行わない

- 区域標識がある場合
「情報提供機能のあるもの→A'、腐食、破損等により情報提供機能がないもの→C1'」として評価
- 区域標識（標識（その1）、標識（その2））がなければ、評価C1'として評価

水路工は地すべりブロックとは別で評価。

砂防設備総括票(様式-0)										
地すべり防止区域名: 寛寺地区						点検日時: 平成28年11月28日				
						点検者: いであ(株) 浅利				
						記入者: いであ(株) 浅利				
点検総括										
No	ブロック	施設健全度評価結果						ブロック健全度評価		備考
		種別	前回点検		今回点検		前回	今回		
			年月日	評価	年月日	評価				
6	A-6	47.横ボーリング			H28.11.28	B'	C2		導水管破損	
		49.横ボーリング			H28.11.28	C2'				
		52.ブロック積擁壁			H28.11.28	A'				
		53.山腹暗渠DD-4			H28.11.28	A'				
7	D	58.横ボーリング			H28.11.29	B'	B		集水柵の土砂堆積	
		62.山腹暗渠DD-7			H28.11.29	A'				
8	その他施設	1.標識(その1) 告知板			H28.12.19	C1'	-		劣化による文字の消失 全箇所亡失(14箇所)	
		1-1.標識(その2) 指定杭			H28.12.19	C1'				
水路工点検総括										
No	ブロック	施設健全度評価結果						ブロック健全度評価		備考
		種別	前回点検		今回点検		前回	今回		
			年月日	評価	年月日	評価				
1	水路工A	1 A1-1幹			H28.11.29	B'	C2		一部土砂堆積	
		2 A1-2支			H28.11.29	C2'			全区間土砂堆積	
		3 A1-3支			H28.11.29	B'			一部土砂堆積	
2	水路工B	4 A2-1幹			H28.11.29	C2'	C2		一部土砂堆積	
		5 A2-2幹			H28.11.29	B'			全区間腐食	
		6 A2-3幹			H28.11.29	B'			全区間土砂堆積	
		7 A2-4支			H28.11.29	B'			全区間腐食	
3	水路工C	8 A6-1幹			H28.11.28	B'	B			
		8-1 A6-1幹-1			H28.11.28	A'				
		9 A6-2幹			H28.11.28	B'			全区間腐食	
		9-1 A6-2幹-1			H28.11.28	A'			全区間腐食	
		10 A6-3幹			H28.11.28	A'				
		11 A6-4支			H28.11.28	B'			一部土砂堆積	
		12 A-5幹			H28.11.28	A'				
		12-1 A-5幹-1			H28.11.28	A'				
		13 A-4幹			H28.11.28	A'				
13-1 A-4幹-1			H28.11.28	A'						

①総括シート (様式-0-1)

詳細位置・アクセス図(様式-0-1)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

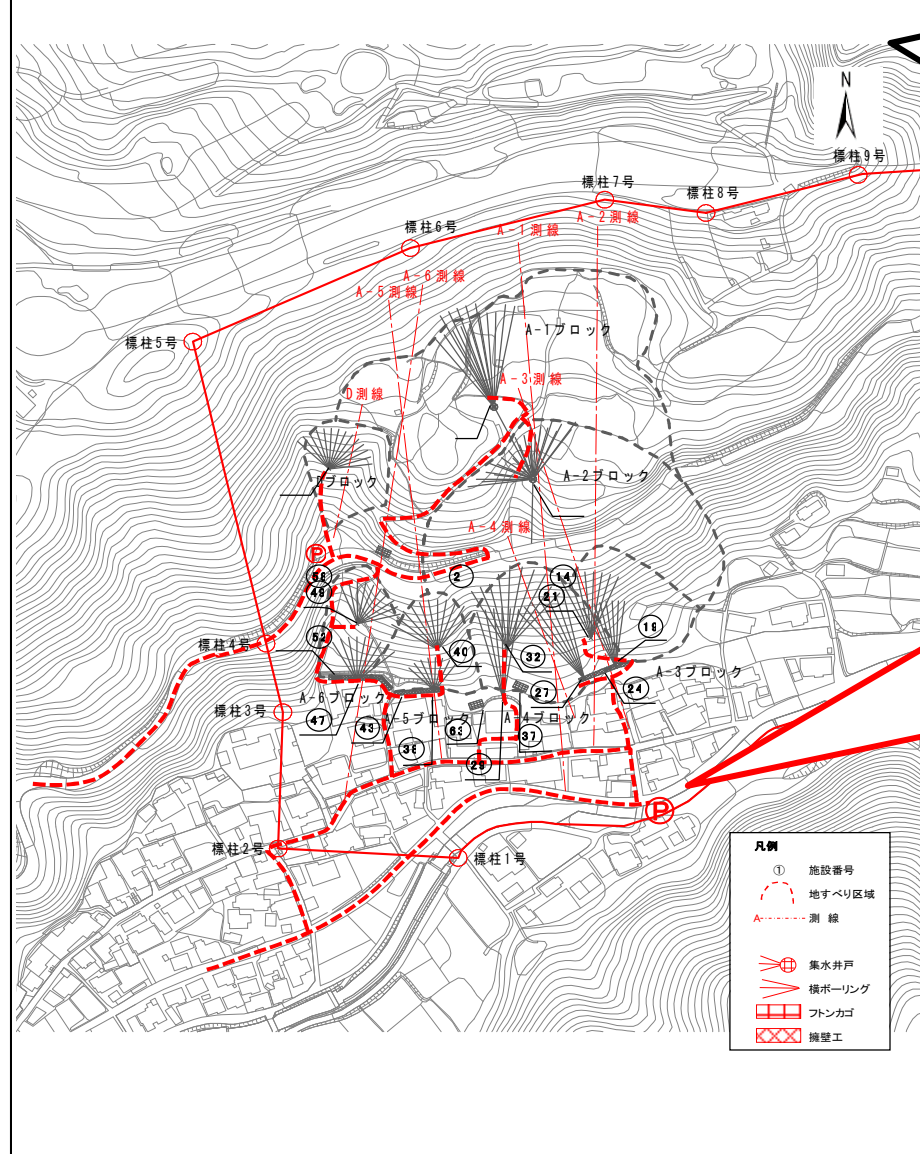
点検日時: 平成28年11月28日

点検者: いであ(株) 浅利

記入者: いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

詳細位置・アクセス ※主要道路(国道、県道)からの経路、車両の駐車位置を1/25000程度の地図、写真により示す。



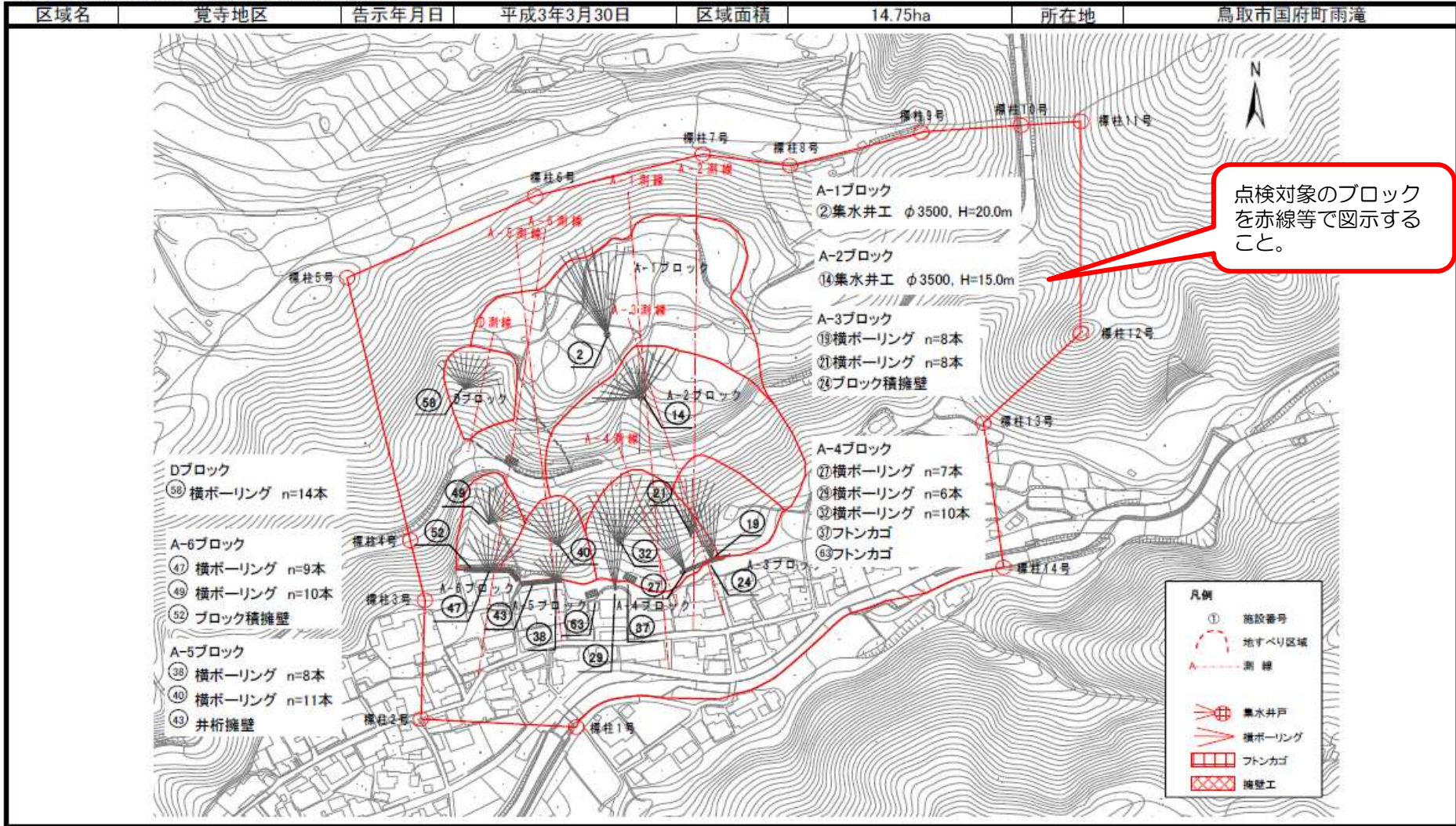
主要道路(国道、県道)からの経路、車両の駐車位置を1/25000程度の地図、写真により示す。

デジタルマップなど縮尺が1/25000程度の地形図を用い、主要道路(国道、県道)からの調査経路および車両駐車位置を示すこと。

①総括シート (点検対象 平面図)

点検対象設備 平面図

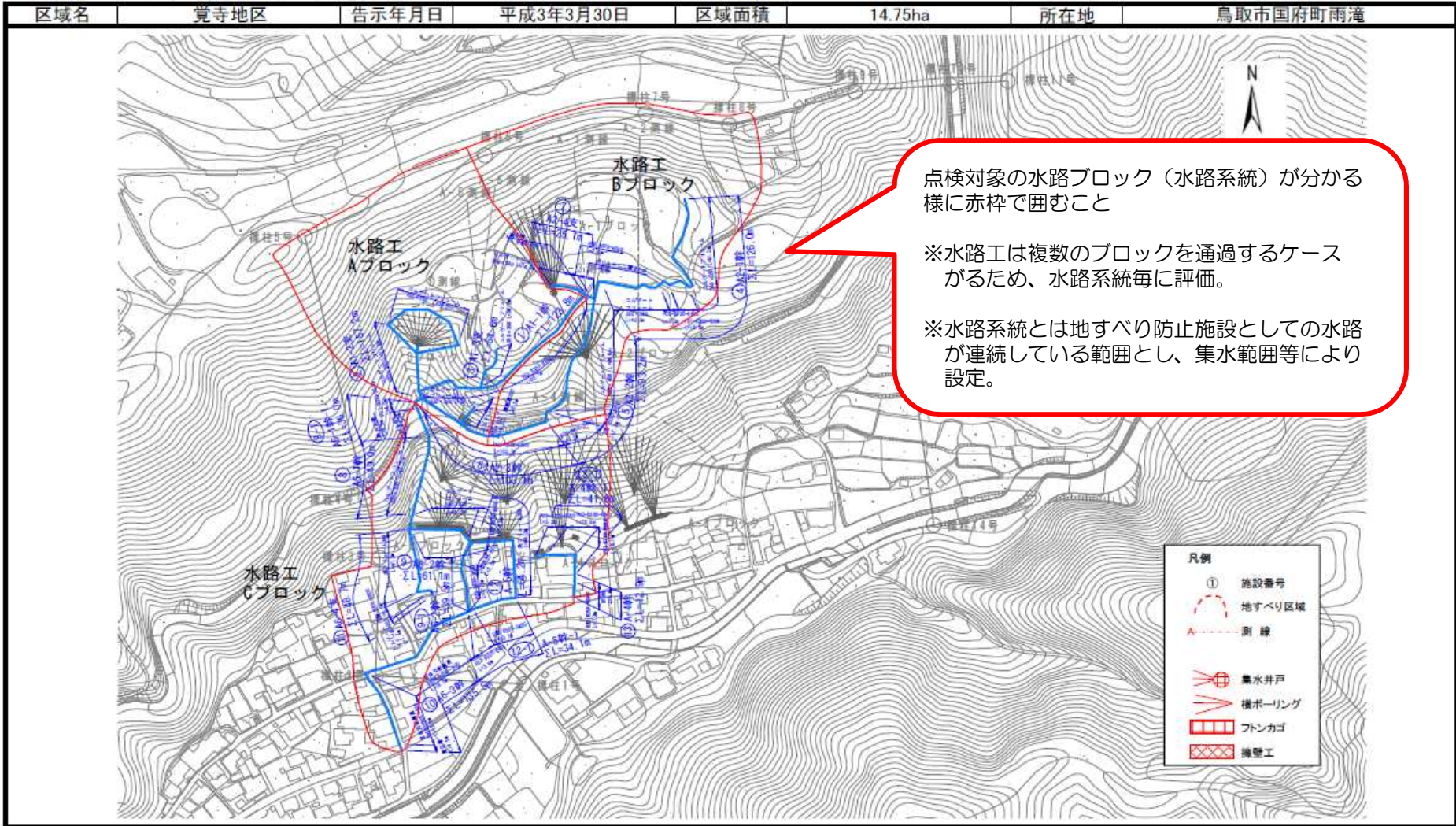
※設備台帳の平面図等に、点検票の作成単位を示す。



①総括シート (点検対象 水路図)

点検対象設備 水路図

※設備台帳の平面図等に、点検票の作成単位を示す。



②各ブロック (様式-2)

※変状レベルa～cを記載
 ※変状が全くない場合でも評価するものは変状レベル「a」として青色で示す。
 ※全景や砂防設備以外のものなど評価しないものは黒色で示す。

写真位置図(様式-2)

地すべり防止区域名: 狩場地区

点検日時: 平成28年5月31日

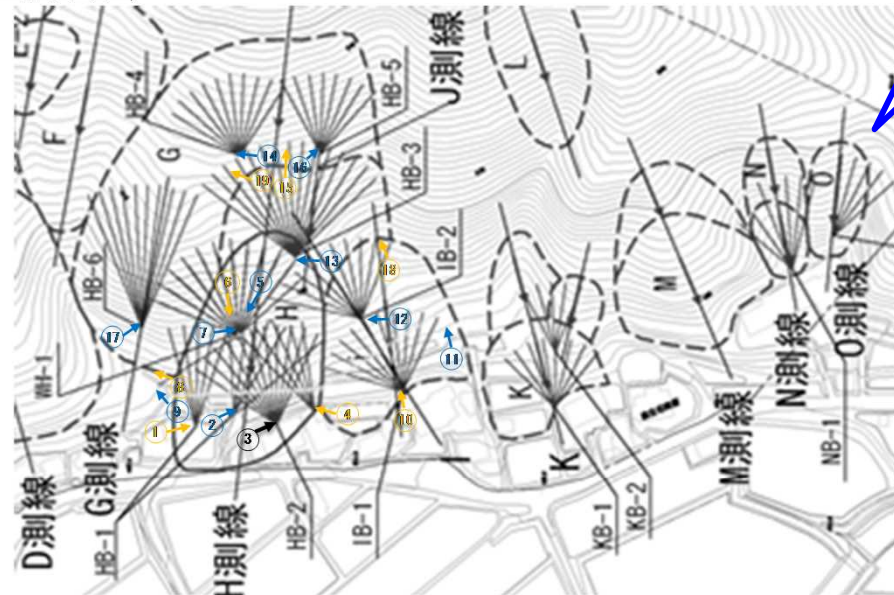
点検者: 大坪・西島・林・平野

点検ブロック名: G・H・I・Jブロック

記入者: 平野

告示年月日	明治33年1月0日	地すべり防止区域面積	0
-------	-----------	------------	---

写真位置図



— 変状レベルc
 — 変状レベルb
 — 変状レベルa
 — 評価しない

集水・排水状況(コメント、観測値があれば観測値)

設備台帳に掲載された平面図を加工(白黒印刷)し用いること。

写真番号および撮影方向を示すこと。

写真番号は変状レベルが識別できるように色分けし、全景など施設を評価しない番号について黒色で示すこと。

②各ブロック (様式-3)

※変状レベルa~cを記載
 ※変状レベルaは部位毎に代表するもの(程度の悪いもの)1件記載。
 ※全景や砂防設備以外の変状レベルは「-」を記載。コメントは可能な限り定量的に記載。

写真帳(様式-3)

対象とする構造物の
名称を示しておくこと。

点検日時:平成28年11月
 点検者:いであ(株) 浅利
 記入者:いであ(株) 浅利

30日 地すべり防止区域面積 14.75ha

排水量も確認すること

写真帳(様式-3)

上区域名:覚寺地区

点検日時:平成28年11月28日

点検者:いであ(株) 浅利

名:A-6ブロック

記入者:いであ(株) 浅利

日 平成3年3月30日

地すべり防止区域面積 14.75ha

※写真は「変状のない施設」についても撮影し、掲載するものとする。



横ポーリング工(49)排水量
 No.1 滴下
 No.2 排水なし
 No.3 排水なし
 No.4 滴下
 No.5 排水なし
 No.6 排水なし
 No.7 排水なし
 No.8 排水なし
 No.9 排水なし
 No.10 2.0
 排水量合計 2.0ℓ/min

写真ではわかりづらい
破損等に関しては
該当箇所を赤丸で示
すこと。



撮影日 2016/11/28

撮影日 2016/11/28

写真番号 14 | 施設番号 50 | 施設名 横ポーリング工

写真番号 15 | 施設番号 50 | 施設名 横ポーリング工

変状箇所 孔口保護工 変状レベル a

変状箇所 集水樹 変状レベル b

コメント:コンクリート擁壁H=1.4m S=0.5 L=2.5m

コメント:L型 200×300 堆積100% L=2.0m



写真撮影日欄を追記。
写真を更新した場合は、
その写真の撮影日
を個別に記入



撮影日 2016/11/28

撮影日 2016/11/28

写真番号 16 | 施設番号 51 | 施設名 横ポーリング工

写真番号 17 | 施設番号 51 | 施設名 横ポーリング工

変状箇所 排水管 変状レベル a

変状箇所 排水管 変状レベル

コメント:流末水路 起点 ポリエチレン管φ200

コメント:流末水路 ポリエチレン管φ200



撮影日 2016/11/28

撮影日 2016/11/28

施設番号 51 | 施設名 横ポーリング工

写真番号 19 | 施設番号 51 | 施設名 横ポーリング工

変状箇所 集水樹 変状レベル

変状箇所 集水樹 変状レベル

コメント:により一部埋塞

コメント:異常は見られない

何を撮影したのかを
示しておくこと。

②各ブロック (様式-3) 例2

※変状レベルa~cを記載
 ※変状レベルaは部位毎に代表するもの(程度の悪いもの)1件記載。
 ※全景や砂防設備以外の変状レベルは「-」を記載。コメントは可能な限り定量的に記載。

写真は変状のない施設についても撮影し、掲載すること。

写真帳(様式-3)
 地すべり防止区域名: 狩場地区
 点検ブロック名: G・H・I・Jブロック
 告示年月日: 平成9年2月28日
 地すべり防止区域面積: 10.53ha

撮影日時: 平成28年5月31日
 検者: 大坪・西島・林・平野
 入者: 平野







対象とする構造物の名称を示しておくこと。

写真	※写真は「変状のない施設」についても撮影し、掲載するものとする。
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 1; 施設番号: 2; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 導水管 変状レベル b コメント: HB-1(5本)導水管破損	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 2; 施設番号: 2; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル a コメント: HB-1(4本)施設状況
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 3; 施設番号: 3; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル コメント: HB-2施設なし	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 4; 施設番号: 3; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 導水管 変状レベル b コメント: HB-2横(5本)導水管破損
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 5; 施設番号: 4; 施設名: 集水井工 変状箇所: 変状レベル a コメント: WH-1施設状況	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 6; 施設番号: 4; 施設名: 集水井工 変状箇所: 進入防護柵 変状レベル b コメント: 進入防護柵の変形

写真帳(様式-3)
 地すべり防止区域名: 狩場地区
 点検ブロック名: G・H・I・Jブロック
 告示年月日: 平成9年2月28日
 地すべり防止区域面積: 10.53ha

撮影日時: 平成28年5月31日
 検者: 大坪・西島・林・平野
 入者: 平野

写真は変状のない施設についても撮影し、掲載すること。

写真	※写真は「変状のない施設」についても撮影し、掲載するものとする。
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 13; 施設番号: 19; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル コメント: HB-3(15本)施設状況	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 14; 施設番号: 20; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル a コメント: HB-4(10本)施設状況
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 15; 施設番号: 20; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 排水管 変状レベル b コメント: HB-4排水管破損	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 16; 施設番号: 21; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル a コメント: HB-5(8本)施設状況
	
撮影日: 2016/5/31 写真番号: 17; 施設番号: 22; 施設名: 環状リング工 変状箇所: 変状レベル a コメント: HB-6(10本)施設状況	撮影日: 2016/5/31 写真番号: 18; 施設番号: 23; 施設名: 水路工 変状箇所: 水路 変状レベル b コメント: 保護コンクリート破損

写真撮影日欄を追記。写真を更新した場合は、その写真の撮影日を個別に記入

写真ではわかりづらい破損等に関しては該当箇所を赤丸で示すこと。

何を撮影したのかを示しておくこと。

②各ブロック (様式-4)

※変状レベルa～cを記載
 ※変状レベルaは様式-3のコメント欄に留意事項があるもののみ記載。

変状位置図(様式-4)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

点検日時: 平成28年11月28日

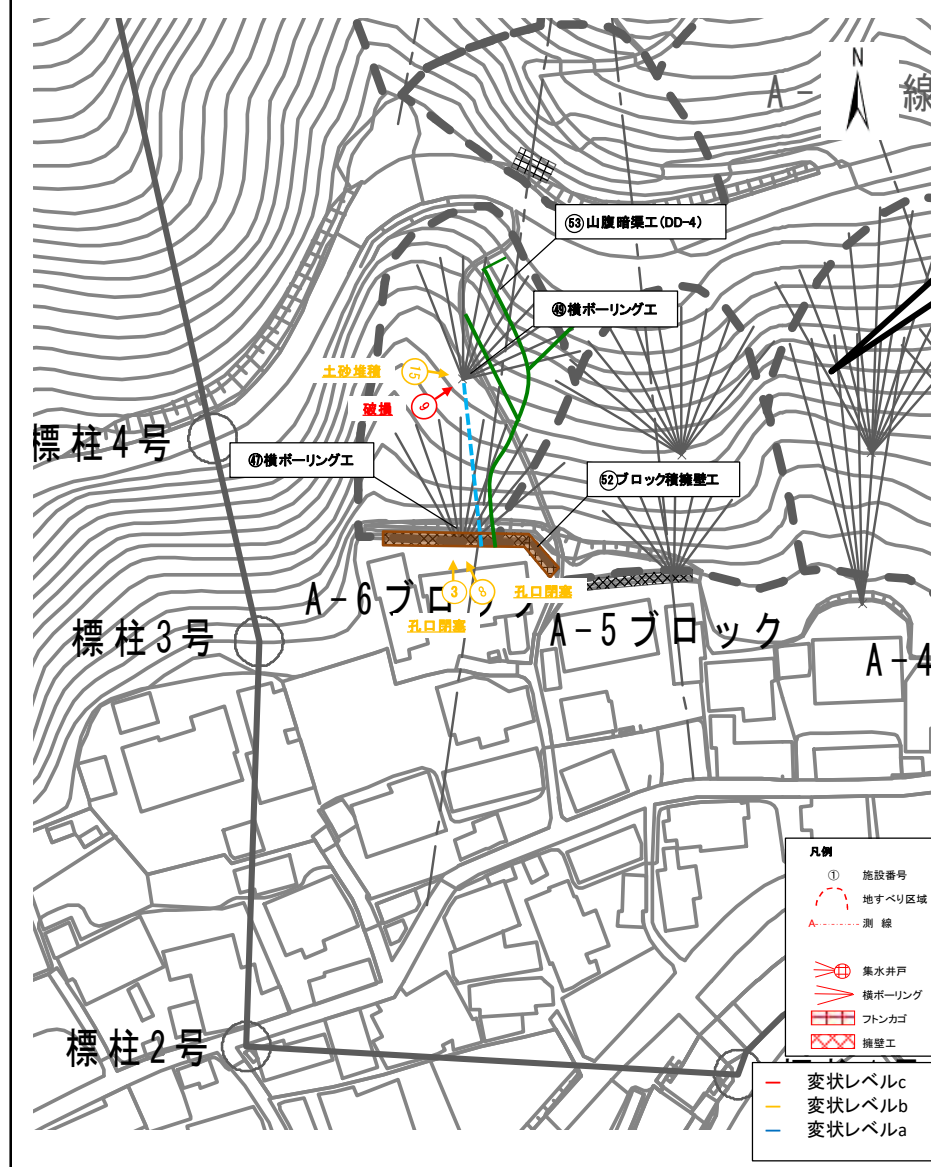
点検ブロック名: A-6ブロック

点検者: いであ(株) 浅利

記入者: いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

変状位置図 ※変状のある位置を様式-5と対比できるように構造図等に記載する。



変状のある位置を様式-5と対比できるように構造図等に記載する。

変状箇所を変状種別、変状レベルが識別できるように色分けすること。

②各ブロック (様式-5)

進行性確認(様式-5)(評価c及びb判定施設)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

点検日時: 平成28年11月28日

点検者: いであ(株) 浅利

点検ブロック名: A-6ブロック

記入者: いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

施設名	変状箇所	変状種別	点検実施年度		経年変化に対するコメント
			平成21年(前回調査)	平成28年(今回)	
横ポーリング工	集水管	孔口閉塞		 写真番号: 3 変状レベル: b	施設番号.47 No.2 集水管の閉塞状況 (1/9本)
横ポーリング工	導水管	孔口閉塞		 写真番号: 8 変状レベル: b	施設番号.47 No.2 導水管の閉塞状況 (1/9本)
横ポーリング工	導水管	破損	 変状レベル: C	 写真番号: 9 変状レベル: C	施設番号.49 導水管の破損 (8/10本)
横ポーリング工	集水溝	土砂堆積		 写真番号: 15 変状レベル: b	施設番号.50 L型 200×300 堆積100% L=2.0m
				写真番号:	
			変状レベル:	変状レベル:	

過年度調査結果を事前に準備し貼付けておくこと。

今後特に何に着目し観察したら良いかを示しておくこと。

可能な限り同じアングルで撮影すること。

次頁のように様式を修正する



②各ブロック (様式-5)

※変状レベルb、cを記載

前頁のように2回分のみの様式の場合

- ・5回分の点検を一覧できる様式へ修正する。
- ・写真撮影日欄の追加及び撮影日を記入する。

進行性確認(様式-5)(評価c及びb判定施設)			点検実施年度					経年変化に対するコメント
施設名	変状箇所	変状種別	2009年(前回調査)	2016年(今回)	2017年	2018年	2019年	
地すべり防止区域名: 鷺寺地区			点検日時: 平成28年11月28日					点検者: いであ(株) 淺利 記入者: いであ(株) 淺利
点検ブロック名: A-6ブロック			地すべり防止区域面積: 14.75ha					
告示年月日: 平成3年3月30日								
集水管	孔口閉塞	孔口閉塞	写真番号: 撮影日:	写真番号: 3 撮影日: 2016/11/28	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	施設番号.47 No.2 集水管の閉塞状況 (1/9本)
			変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: b 写真番号: 8 撮影日: 2016/11/28	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	
横ポーリング工	導水管	孔口閉塞	写真番号: 撮影日:	写真番号: 9 撮影日: 2016/11/28	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	No. 導水管の閉塞状況 (1/9本)
			変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: b 写真番号: 9 撮影日: 2016/11/28	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	
横ポーリング工	集水溝	土砂堆積	写真番号: 撮影日:	写真番号: 15 撮影日: 2016/11/28	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	施設番号.49 導水管の破損 (8/10本)
			変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: c 写真番号: 15 撮影日: 2016/11/28	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	
横ポーリング工	集水溝	土砂堆積	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	写真番号: 撮影日:	施設番号.50 L型 200×300 堆積100% L=2.0m
			変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	変状レベル: 写真番号: 撮影日:	

写真撮影日欄を追加。
写真を更新した場合は、その写真の撮影日を個別に記入

今後特に何に着目し観察したら良いかを示しておくこと。

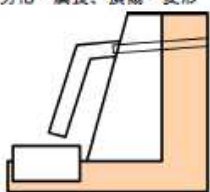
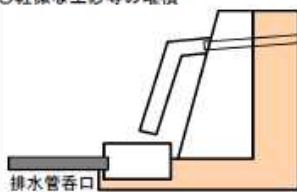
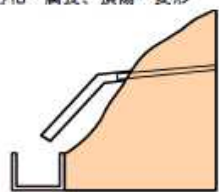

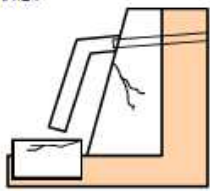

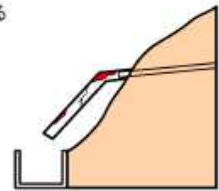



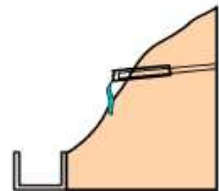

可能な限り同じアングルで撮影すること。

過年度調査結果を事前に準備し貼付けておくこと。

変状レベル設定時は、
砂防関係施設点検要
領に準拠すること。
また、cと評価する
場合、補足説明事項
を確認すること

補足：下表に示す大半とは設置されている
横ポーリング工集水管の本数の半分以上が変状している場合とする。

主な部位の変状レベルの評価標準（横ポーリング工）

変状レベル	横ポーリング工				
	孔口保護工・集水柵の劣化・腐食、損傷・変形	集水柵の土砂等の堆積	集水管の劣化・腐食、損傷・変形	集水管の閉塞物の付着	
a 軽微な損傷	<ul style="list-style-type: none"> ○変状なし ○軽微な劣化・腐食、損傷・変形 	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂等の堆積なし ○軽微な土砂等の堆積 	<ul style="list-style-type: none"> ○変状なし ○軽微な劣化・腐食、損傷・変形 	<ul style="list-style-type: none"> ○閉塞物の付着なし ○孔口に閉塞物が少量付着 ○地下水の排出が確認されている 	
b 損傷あるが、機能・性能低下に至っていない	<ul style="list-style-type: none"> ○一部が劣化・腐食、損傷・変形している（漏水はない状態） 	<ul style="list-style-type: none"> ○一部に土砂等が堆積している（溢水はない状態） 	<ul style="list-style-type: none"> ○一部の集水管・流末管が劣化・腐食、損傷・変形している 	<ul style="list-style-type: none"> ○大半の集水管に閉塞物が付着（概ね孔口断面の25%以下）している ○地下水の排出が確認されている 	
c 機能・性能低下あり	<ul style="list-style-type: none"> ○劣化・腐食、損傷・変形によって漏水している 	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂等の堆積によって溢水している 	<ul style="list-style-type: none"> ○大半の集水管・流末管が劣化・腐食、損傷・変形している 	<ul style="list-style-type: none"> ○大半の集水管に閉塞物が多量に付着（概ね孔口断面の25%以上）している ○閉塞により地下水の排出が止まっていると考えられる 	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・集水不能や集水した水の漏出・溢水は、地下水位の上昇を上昇させる要因となり、地すべりの安定性の低下につながる。 ・地下水観測や地下水排除工の排水量観測のデータは、地下水排除工の健全度評価において有益な情報となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔口保護工等の劣化・腐食、損傷・変形の進行は、横ポーリングの集水不能や集水した水の漏出を生じる恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集水柵の土砂等の堆積が進行すると、集水した水の溢水を生じる恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化・腐食、損傷・変形の進行は、横ポーリングの集水不能を生じる恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉塞物によって集水管が閉塞すると、集水不能を生じる。
点検留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目視点検によって可視部分の変状の有無を確認する。 ・集水管からの排水状況（量）を記録することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経年変化による鋼製部分の腐食やコンクリート等部材の劣化の状況を確認する。 ・地すべり活動等による孔口保護工や集水柵の損傷・変形の状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集水柵への土砂や植物遺骸等の堆積の状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経年変化による集水管の腐食（鋼製）や劣化（樹脂製）の状況を確認する。 ・地すべり活動等による集水管の損傷・変形の状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集水管孔口への閉塞物（鉄細菌、泥、藻類）の付着の状況を確認する。

②各ブロック (点検チェックシート)

点検チェックシート

施設種別	変状	点検項目	チェック
1 横ボーリング工 施設番号: 47	c	<ul style="list-style-type: none"> 設置された管等の本数の半分以上の集水管の閉塞が確認される。 設置された管等の本数の半分以上の集水管や導水管の破損が確認される。 設置された管等の本数の半分以上の孔口保護施設の破損が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一部の集水管に目詰まりが確認される。 部分的な集水管や導水管の破損が確認される。 一部孔口保護施設の破損が確認される。 	○
	a	<ul style="list-style-type: none"> 集水管に目詰まりは確認されない。 ✓ 集水管や導水管の破損は確認されない。 ✓ 孔口保護施設の破損は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	
2-1 横ボーリング工 施設番号: 49	c	<ul style="list-style-type: none"> 設置された管等の本数の半分以上の集水管の閉塞が確認される。 ✓ 設置された管等の本数の半分以上の集水管や導水管の破損が確認される。 設置された管等の本数の半分以上の孔口保護施設の破損が確認される。 	○
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部の集水管に目詰まりが確認される。 部分的な集水管や導水管の破損が確認される。 一部孔口保護施設の破損が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 集水管に目詰まりは確認されない。 集水管や導水管の破損は確認されない。 ✓ 孔口保護施設の破損は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	
2-2 擁壁工 (孔口保護集水柵) 施設番号: 50	c	<ul style="list-style-type: none"> 集中したひびわれ、5.0m以上の広範囲に連続したひびわれが確認される。 5.0m以上の広範囲にわたる破損が確認される。 規模の大きな顕著な変形が確認される。 規模の比較的大きな基礎の顕著な沈下が確認される。 5.0m以上の広範囲にわたる漏水が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひびわれが確認される。 ✓ 部分的な破損が確認される。(土砂堆積) 規模の小さな微細な変形が確認される。 基礎の微細な沈下が確認されるが、規模は小さい。 部分的な漏水が確認される。 	○
	a	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ひびわれは確認されない。 破損は確認されない。 ✓ 基礎の沈下は確認されない。 ✓ 変形は確認されない。 ✓ 漏水は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	
2-3 水路工 (流末処理工) 施設番号: 51	c	<ul style="list-style-type: none"> 変状箇所の総計が5m以上の水路工のつまりが確認される。 一部へ集中したり、変状箇所の総計が5m以上の連続しているひびわれが確認される。 変状箇所の総計が5m以上の漏水が確認される。 変状箇所の総計が5m以上の破損が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部区間に水路工のつまりが確認される。 部分的なひびわれが確認される。 一部区間で漏水が確認される。 一部区間で破損が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> 水路工のつまりは確認されない。 ✓ ひびわれは確認されない。 ✓ 漏水は確認されない。 ✓ 破損は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	○

点検時はチェックシートを持参し該当する項目には全てチェックすること。

※変状レベルによらず該当する項目は全てチェックし、総合評価としてチェック欄に○を付す。

点検チェックシート

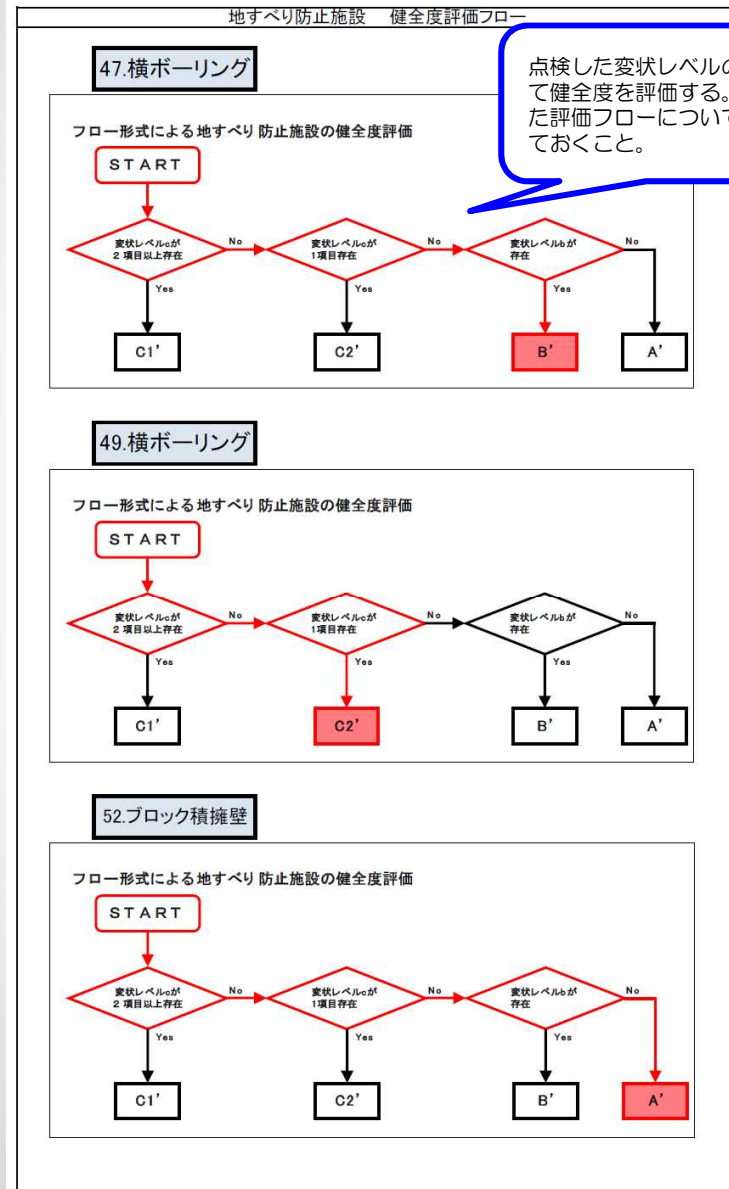
2/2

施設種別	変状	点検項目	チェック
3 擁壁工 (ブロック積擁壁工) 施設番号: 52	c	<ul style="list-style-type: none"> 集中したひびわれ、5.0m以上の広範囲に連続したひびわれが確認される。 5.0m以上の広範囲にわたる破損が確認される。 規模の大きな顕著な変形が確認される。 規模の比較的大きな基礎の顕著な沈下が確認される。 5.0m以上の広範囲にわたる漏水が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひびわれが確認される。 部分的な破損が確認される。 規模の小さな微細な変形が確認される。 基礎の微細な沈下が確認されるが、規模は小さい。 部分的な漏水が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ひびわれは確認されない。 ✓ 破損は確認されない。 ✓ 基礎の沈下は確認されない。 ✓ 変形は確認されない。 ✓ 漏水は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	○
4 排水トンネル (山腹暗渠工) 施設番号: 53	c	<ul style="list-style-type: none"> 変状箇所の総計が5m以上の内部のゆがみや破損が確認される。 変状箇所の総計が5m以上の破損が確認される。 設置された管等の本数の半分以上の集水孔口の閉塞が確認される。 内部断面の半分以上の排水路内部のつまりが確認される。 変状箇所の総計が5m以上の排水路の破損、変形が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 部分的に、内部のゆがみや破損が確認される。 部分的な、集水孔口の閉塞が確認される。 集水孔口の腐食が確認される。 部分的に、排水路内部のつまりが確認される。 部分的に、排水路の破損、変形が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 内部のゆがみや破損は確認されない。 ✓ 集水孔口の閉塞は確認されない。 ✓ 集水孔口の腐食は確認されない。 ✓ 排水路内部のつまりは確認されない。 ✓ 排水路の破損、変形は確認されない。 ✓ その他異常は確認されない。 	○

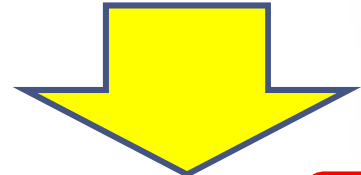
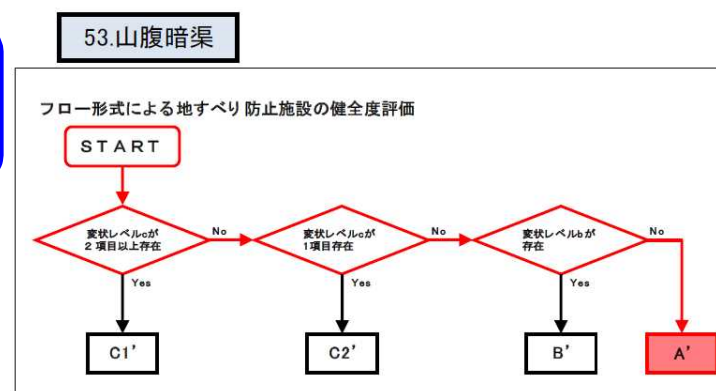
該当しない施設の項目は、削除し混同を防ぐこと。

②各ブロック (健全度評価フロー)

地すべり防止施設ごとの健全度評価

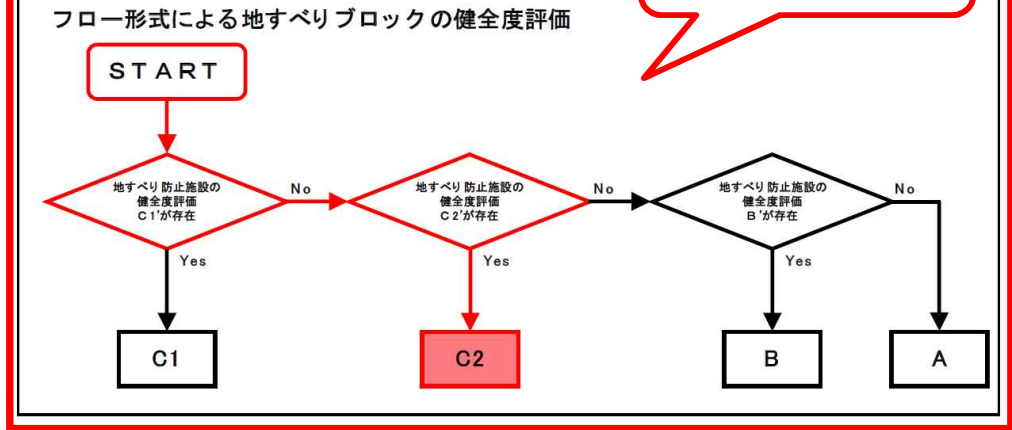


点検した変状レベルの個数にて健全度を評価する。決定した評価フローについて着色しておくこと。



地すべりブロックの健全度評価

地すべりブロック内の地すべり防止施設の健全度に応じてブロックの健全度を評価



その他施設

地すべり防止施設点検票(様式-1)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

点検ブロック名: その他施設

点検日時: 平成28年12月19日

点検者: いであ(株) 浅利

記入者: いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

点検結果一覧

※cもしくはb評価を対象とする

番号	施設名	変状箇所	変状種別	変状レベル*	評価した理由	備考
1	標識(その1) 告知板	告知板	劣化	b	劣化による文字の消失	写真番号: 3
1-1	標識(その2) 指定杭	指定杭	亡失	c	全箇所(14箇所)亡失	写真番号: 4~8

その他施設についても同様に様式1~5、健全度評価フローをとりまとめる。評価については次のとおり

- 区域標識がある場合
「情報提供機能のあるもの→A'、腐食、破損等により情報提供機能がないもの→C1'」として評価
- 区域標識(標識(その1)、標識(その2))がなければ、評価C1'として評価

写真撮影日欄を追記。
写真を更新した場合は、その写真の撮影日を個別に記入

現地写真を残すこと

番号	施設名	健全度評価
1	標識(その1)告知板	C1'
1-1	標識(その2)指定杭	C1'

所見: 標識(その1)告知板→劣化により標識内容が見えにくいため、継続的な観察が必要である。
標識(その2)指定杭→全箇所(14箇所)において亡失しているものと思われる。

標識(その1)、標識(その2)も現地で確認すること

写真帳(様式-3)

地すべり防止区域名: 覚寺地区

点検日時: 平成28年12月19日

点検ブロック名: その他施設

点検者: いであ(株) 浅利

記入者: いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	
-------	-----------	------------	--

写真 ※写真は「変状のない箇所」についても撮影し、撮影するものを止める。

	
撮影日: 2016/12/19 写真番号: 1 施設番号: 1 施設名: 告知板 変状箇所: 告知板 変状レベル: a コメント: 全量「地すべり防止区域」法指定標識	撮影日: 2016/12/19 写真番号: 2 施設番号: 1 施設名: 告知板 変状箇所: 告知板 変状レベル: a コメント: 「地すべり防止区域」法指定標識
	
撮影日: 2016/12/19 写真番号: 3 施設番号: 1 施設名: 告知板 変状箇所: 告知板 変状レベル: b コメント: 近景「地すべり防止区域」法指定標識	撮影日: 2016/12/19 写真番号: 4 施設番号: 1 施設名: 指定杭 変状箇所: 指定杭 変状レベル: c コメント: 指定杭1号 亡失
	
撮影日: 2016/12/19 写真番号: 5 施設番号: 1 施設名: 指定杭 変状箇所: 指定杭 変状レベル: c コメント: 指定杭2号 亡失	撮影日: 2016/12/19 写真番号: 6 施設番号: 1 施設名: 指定杭 変状箇所: 指定杭 変状レベル: c コメント: 指定杭4号 亡失

水路工（様式-1～5）

水路工についても水路ブロック（水路系統）ごとに様式1～5、健全度評価フローをとりまとめる。

地すべり防止施設点検票（様式-1）

地すべり防止区域名：覚寺地区

点検ブロック名：水路工A

点検日時：平成28年11月29日
 点検者：いであ(株) 浅利
 記入者：いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------

点検結果一覧 ※aもしくはb評価を対象とする

番号	施設名	変状箇所	変状種別	変状レベル ^a	評価した理由	備考
1	A1-1幹	水路	土砂堆積	b	堆積40% L=17.0m	写真番号: 2
1	A1-1幹	集水樹	土砂堆積	b	堆積50%	写真番号: 4
1	A1-1幹	水路	土砂堆積	b	堆積80% L=8.0m	写真番号: 6
1	A1-1幹	集水樹	土砂堆積	c	堆積100%	写真番号: 7道路施設
1	A1-1幹	集水樹	土砂堆積	b	堆積50%	写真番号: 9
2	A1-2支	水路	土砂堆積	b	堆積40% L=9.0m	写真番号: 20
2	A1-2支	水路	土砂堆積	b	堆積70% L=5.0m	写真番号: 23
2	A1-2支	水路	土砂堆積	b	堆積40% L=9.0m	写真番号: 26
2	A1-2支	水路	土砂堆積	c	堆積100% L=39.0m	写真番号: 27
2	A1-2支	水路	土砂堆積	b	堆積80% L=8.0m	写真番号: 29
2	A1-2支	水路	土砂堆積	c	堆積100% L=9.0m	写真番号: 31
2	A1-2支	水路	土砂堆積	b	堆積70% L=20.0m	写真番号: 32
3	A1-3支	集水樹	土砂堆積	b	堆積60%	写真番号: 35
3	A1-3支	水路	土砂堆積	b	堆積50% L=9.0m	写真番号: 40
3	A1-3支	水路	土砂堆積	b	堆積40% L=12.0m	写真番号: 42

番号	施設名	健全度評価
1	A1-1幹	B'
2	A1-2支	C2'
3	A1-3支	B'
ブロック健全度評価		C2

所見: A1-1幹(1)
 ・下流部の全区間に亘り土砂堆積が確認されるとともに、中流の集水樹では50%~100%の土砂堆積が確認できるため、継続的な観察が必要である。
 ・中流から終点に至る道路側溝の変状は見られない。
 A1-2支(2)
 ・全区間に亘り土砂堆積が確認でき、特に上部の緩勾配区間では全区間に80%~100%の土砂堆積が確認できるため、早急な修繕対策が望まれる。
 A1-3支(3)
 ・起点に設置されている集水樹に土砂堆積が確認できる他、上部の概ねの区間には土砂堆積が確認できるため継続的な観察が必要である。
 ・起点部にフンカゴが確認できるが変状は見られない。

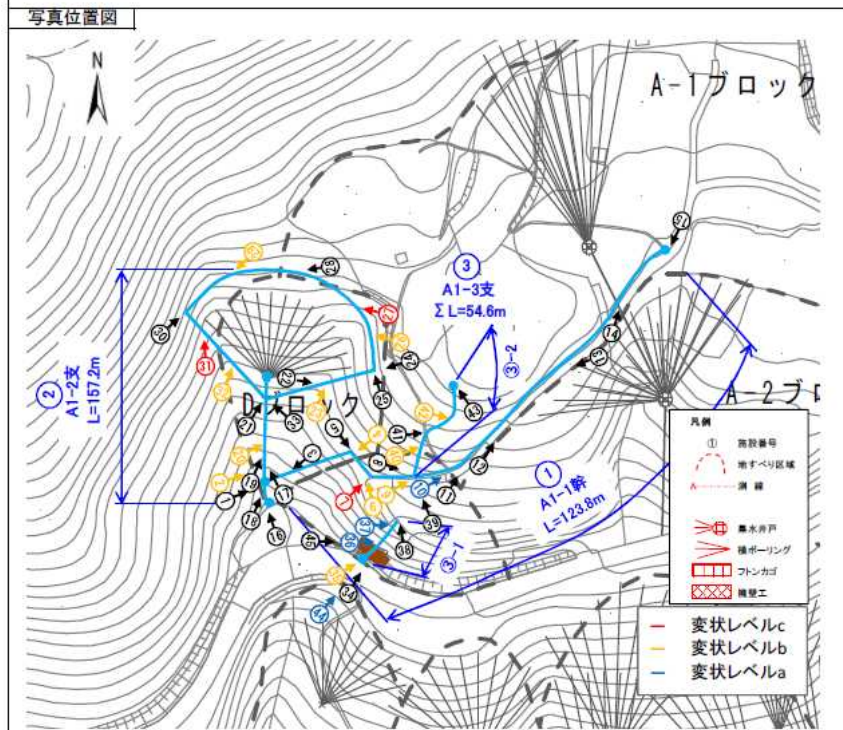
写真位置図(様式-2)

地すべり防止区域名：覚寺地区

点検ブロック名：水路工A

点検日時：平成28年11月29日
 点検者：いであ(株) 浅利
 記入者：いであ(株) 浅利

告示年月日	平成3年3月30日	地すべり防止区域面積	14.75ha
-------	-----------	------------	---------



集水・排水状況(コメント、観測値があれば観測)

水路工（様式-1~5）

対象とする構造物の名称を示しておくこと。

点検日時：平成28年11月29日
 点検者：いであ(株) 浅利
 記入者：いであ(株) 浅利

平成3年3月30日 地すべり防止区域面積

何を撮影したのかを示しておくこと。

写真は「変状のない施設」についても撮影し、掲載するものとする。



撮影日	2016/11/29	撮影日	2016/11/29
写真番号	16；施設番号 A1-2支	施設名	水路工
変状箇所	水路	変状レベル	
コメント	起点 コルゲートフリューム350		



撮影日	2016/11/29	撮影日	2016/11/29
写真番号	18；施設番号 A1-2支	施設名	水路工
変状箇所	水路	変状レベル	
コメント	水路状況 コルゲートフリューム350		



撮影日	2016/11/29	撮影日	2016/11/29
写真番号	20；施設番号 A1-2支	施設名	水路工
変状箇所	水路	変状レベル	b
コメント	コルゲートフリューム350 堆積40% L=9.0m		

撮影日	2016/11/29	撮影日	2016/11/29
写真番号	21；施設番号 A1-2支	施設名	水路工
変状箇所	水路	変状レベル	
コメント	コルゲートフリューム350 分岐点		

写真撮影日欄を追記。
 写真を更新した場合は、その写真の撮影日を個別に記入

変状箇所を変状種別、
 変状レベルが識別できるように色分けすること。

変状位置図(様式-4)

地すべり防止区域名：覚寺地区

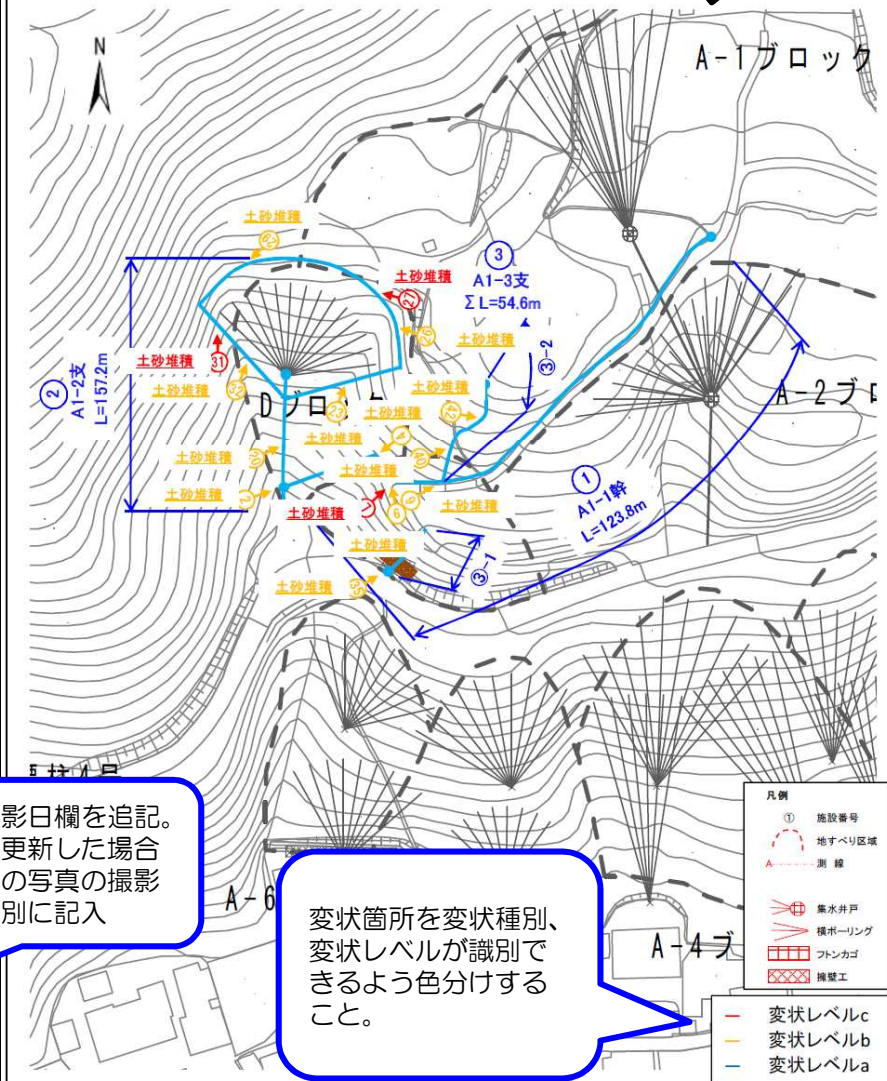
点検ブロック名：水路工A

点検
 点検
 記入

告示年月日 平成3年3月30日 地すべり防止区域面積

変状位置図 ※変状のある位置を様式-5と対比できるように構造図等に記載する。

変状のある位置を様式-5と対比できるように構造図等に記載する。



- 凡例
- ① 施設番号
 - 地すべり区域
 - 測線
 - ⊕ 集水井戸
 - 横溝・リング
 - フシカゴ
 - ⊗ 構築工
 - 変状レベルc
 - 変状レベルb
 - 変状レベルa

水路工（点検チェックシート、健全度評価フロー）

点検チェックシート

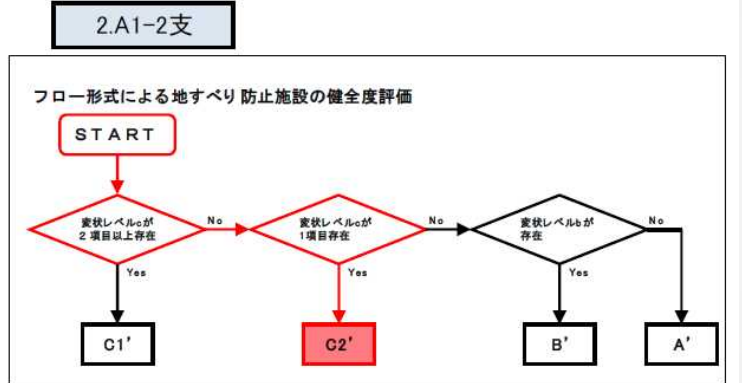
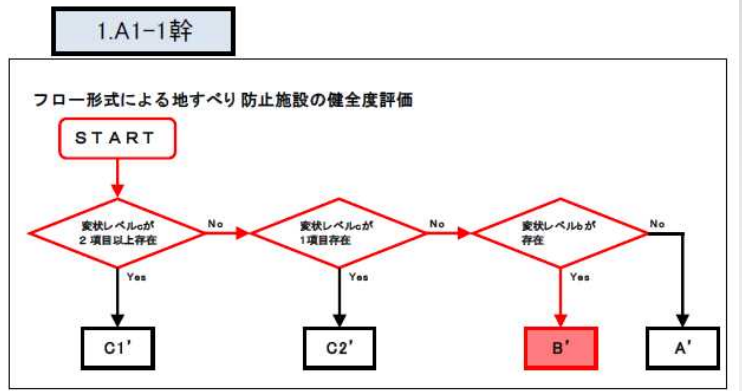
1/1

施設種別	変状レベル	点検項目	
1 水路工 (A1-1幹) 施設番号: 1	c	<ul style="list-style-type: none"> 変状箇所の総計が5m以上の水路工のつまりが確認される。 一部へ集中したり、変状箇所の総計が5m以上の連続しているひびわれが確認される。 変状箇所の総計が5m以上の漏水が確認される。 変状箇所の総計が5m以上の破損が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部区間に水路工・集水樹のつまりが確認される。 部分的なひびわれが確認される。 一部区間で漏水が確認される。 一部区間で破損が確認される。 	○
	a	<ul style="list-style-type: none"> 水路工のつまりは確認されない。 ひびわれは確認されない。 漏水は確認されない。 破損は確認されない。 その他異常は確認されない。 	
2 水路工 (A1-2支) 施設番号: 2	c	<ul style="list-style-type: none"> 変状箇所の総計が5m以上の水路工のつまりが確認される。 一部へ集中したり、変状箇所の総計が5m以上の連続しているひびわれが確認される。 変状箇所の総計が5m以上の漏水が確認される。 変状箇所の総計が5m以上の破損が確認される。 	○
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部区間に水路工のつまりが確認される。 部分的なひびわれが確認される。 一部区間で漏水が確認される。 一部区間で破損が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> 水路工のつまりは確認されない。 ひびわれは確認されない。 漏水は確認されない。 破損は確認されない。 その他異常は確認されない。 	
3-1 水路工 (A1-3支) 施設番号: 3	c	<ul style="list-style-type: none"> 変状箇所の総計が5m以上の水路工のつまりが確認される。 一部へ集中したり、変状箇所の総計が5m以上の連続しているひびわれが確認される。 変状箇所の総計が5m以上の漏水が確認される。 変状箇所の総計が5m以上の破損が確認される。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部区間に水路工・集水樹のつまりが確認される。 部分的なひびわれが確認される。 一部区間で漏水が確認される。 一部区間で破損が確認される。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> 水路工のつまりは確認されない。 ひびわれは確認されない。 漏水は確認されない。 破損は確認されない。 その他異常は確認されない。 	
3-2 鋼製 (フトンカゴ工)	c	<ul style="list-style-type: none"> 半分以上の範囲に洗掘により、基礎が認められる。 半分以上の範囲に洗掘が認められる。 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> 一部の範囲で、壁面材の破損が認められる。 一部の範囲で、中詰材の流出が認められる。 一部の範囲で、背面土砂の流出が認められる。 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> 壁面材の破損は認められない。 洗掘は確認されない。 中詰材の流出は認められない。 背面土砂の流出は認められない。 	

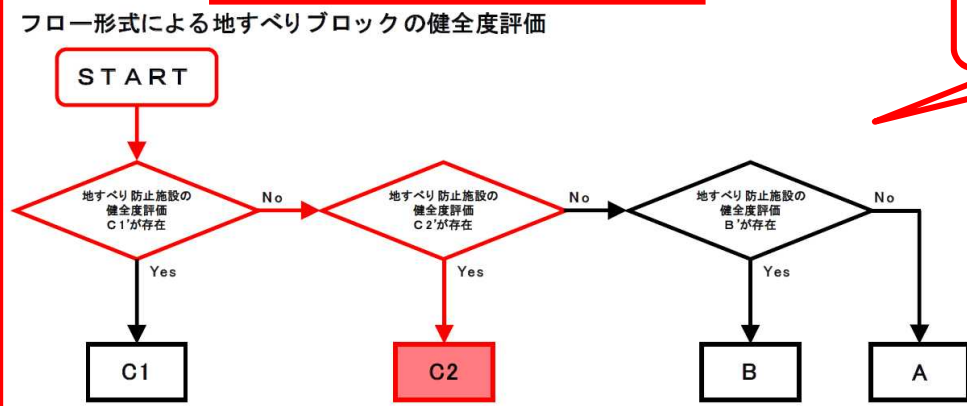
点検時はチェックシートを持参し該当する項目には全てチェックすること。

該当しない施設の項目は、削除し混同を防ぐこと。

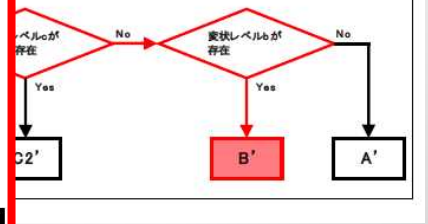
水路ごとの健全度評価



水路ブロックの健全度評価

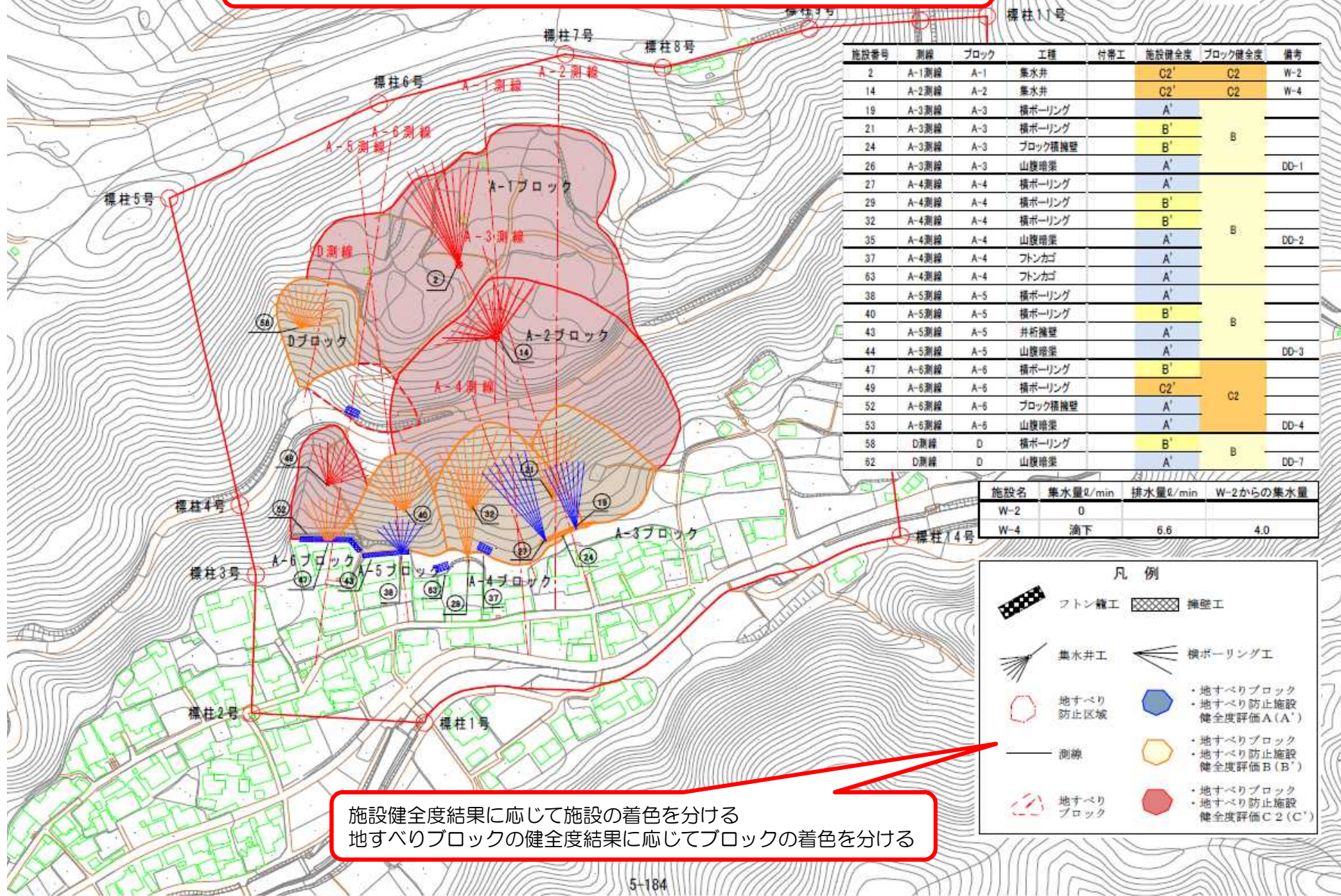


水路ブロック内の水路工の健全度に応じて水路ブロックの健全度を評価



評価平面図

地すべり防止施設の評価、地すべりブロックの健全度評価を視覚的に評価するために、計画平面図を作成し、個標の巻末に添付



施設番号	測線	ブロック	工程	付帯工	施設健全度	ブロック健全度	備考
2	A-1測線	A-1	集水井		C2'	C2	W-2
14	A-2測線	A-2	集水井		C2'	C2	W-4
19	A-3測線	A-3	横ボーリング		A'		
21	A-3測線	A-3	横ボーリング		B'	B	
24	A-3測線	A-3	ブロック積換壁		B'		
26	A-3測線	A-3	山腹増強		A'		DD-1
27	A-4測線	A-4	横ボーリング		A'		
28	A-4測線	A-4	横ボーリング		B'		
32	A-4測線	A-4	横ボーリング		B'	B	
35	A-4測線	A-4	山腹増強		A'		DD-2
37	A-4測線	A-4	フシカゴ		A'		
63	A-4測線	A-4	フシカゴ		A'		
38	A-5測線	A-5	横ボーリング		A'		
40	A-5測線	A-5	横ボーリング		B'	B	
43	A-5測線	A-5	井桁擁壁		A'		
44	A-5測線	A-5	山腹増強		A'		DD-3
47	A-6測線	A-6	横ボーリング		B'		
49	A-6測線	A-6	横ボーリング		C2'	C2	
52	A-6測線	A-6	ブロック積換壁		A'		
53	A-6測線	A-6	山腹増強		A'		DD-4
58	D測線	D	横ボーリング		B'	B	
62	D測線	D	山腹増強		A'		DD-7

施設名	集水量ℓ/min	排水量ℓ/min	W-2からの集水量
W-2	0		
W-4	滴下	6.6	4.0

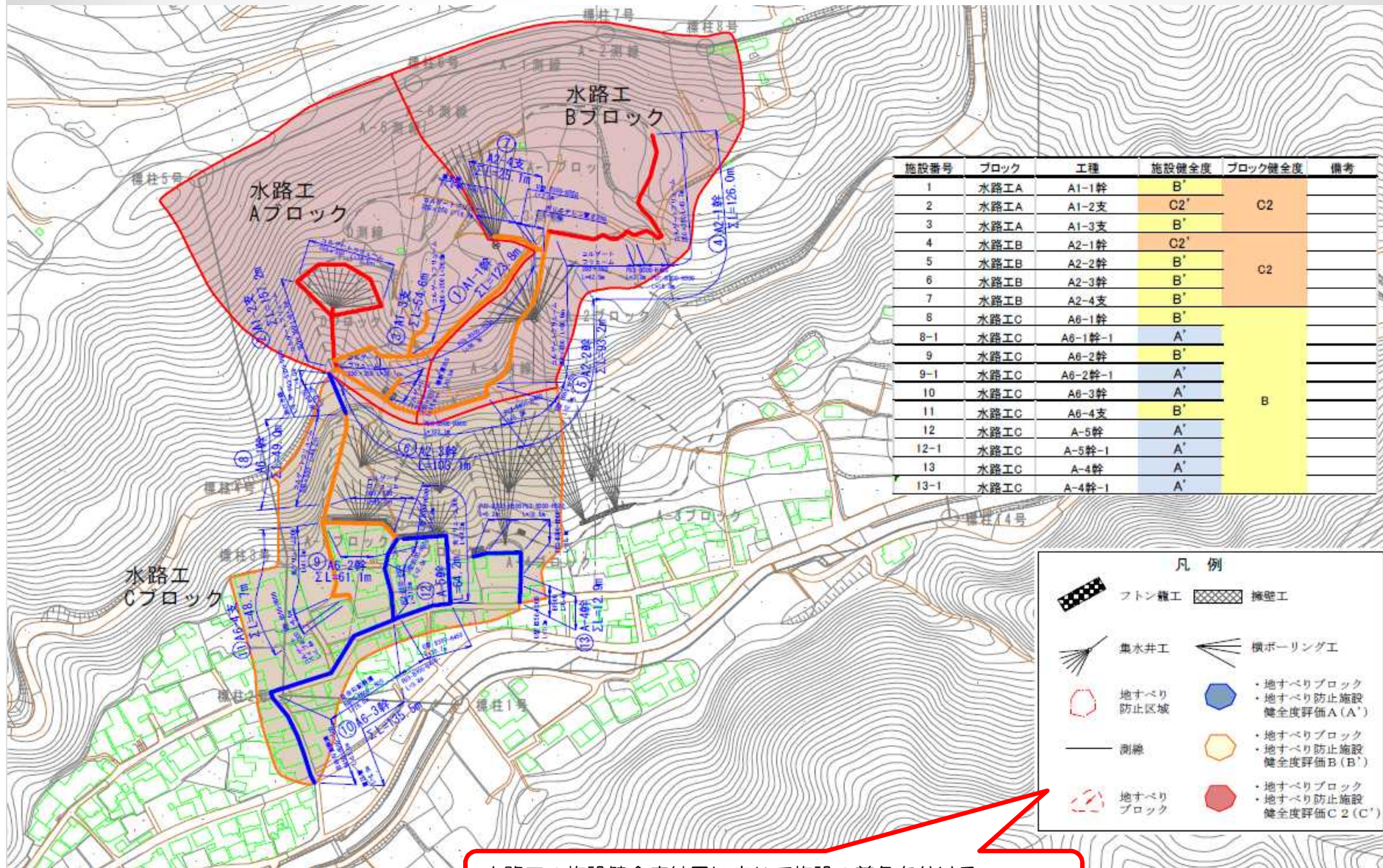
凡例

- フトン擁工
- 擁壁工
- 集水井工
- 横ボーリング工
- 地すべり防止区域
- 地すべりブロック
- 地すべり防止施設健全度評価A (A')
- 地すべりブロック
- 地すべり防止施設健全度評価B (B')
- 地すべりブロック
- 地すべり防止施設健全度評価C2 (C')

施設健全度結果に応じて施設の着色を分ける
地すべりブロックの健全度結果に応じてブロックの着色を分ける

評価平面図 (水路工)

地すべり防止施設の評価、地すべりブロックの健全度評価を視覚的に評価するために、計画平面図を作成し、個標の巻末に添付



水路工の施設健全度結果に応じて施設の着色を分ける
水路ブロックの健全度結果に応じてブロックの着色を分ける

ロングリスト

地すべり防止施設の点検結果、補修履歴等を一元管理するためにロングリストを作成。

地すべり防止施設ロングリスト【横ボーリング】 1 / 2

通し番号	地区名	ブロック名	施設		施設健全度評価		施設変状レベル											
			番号	備考	評価	対応	集水管		集水導水管		孔口保護		集水樹		排水			
							評価	内容	評価	内容	評価	内容	評価	内容	評価	内容		
																	評価	内容
1	覚寺	A-3	19.20	19横ボーリング	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし		
2	覚寺	A-3	21.22.23	21横ボーリング	B'	経過観察	a	異常なし	b	機能・性能低下に至っていない	3/8本損傷	b	機能・性能低下に至っていない	土砂堆積	b	機能・性能低下に至っていない	鋼板蓋の一部腐食 土砂堆積・変形	
3	覚寺	A-4	27.28	27横ボーリング	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	-	-	-	-	a	異常なし		
4	覚寺	A-4	29.30.31	29横ボーリング	B'	経過観察	a	異常なし	-	-	a	異常なし	-	-	b	機能・性能低下に至っていない	鋼板蓋の一部腐食	
5	覚寺	A-4	32.33.34	32横ボーリング	B'	経過観察	a	異常なし	b	機能・性能低下に至っていない	4/10本損傷	a	異常なし	a	異常なし	b	機能・性能低下に至っていない	全区間に亘る腐食
6	覚寺	A-5	38.39	38横ボーリング	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	a	(43井桁擁壁)	-	-	-	-		
7	覚寺	A-5	40.41.42	40横ボーリング	B'	経過観察	a	異常なし	-	-	b	機能・性能低下に至っていない	土砂堆積	-	-	a	異常なし	
8	覚寺	A-6	47.48	47横ボーリング	B'	経過観察	b	機能・性能低下に至っていない	1/9本孔口閉塞	b	機能・性能低下に至っていない	1/9本孔口閉塞	a	(24ブロック積擁壁)	-	-	-	
9	覚寺	A-6	49.50.51	49横ボーリング	C2'	要対策	a	異常なし	c	機能・性能低下	8/10本損傷	b	機能・性能低下に至っていない	土砂堆積	a	異常なし	a	異常なし
10	覚寺	D	58.59	58横ボーリング	B'	経過観察	a	異常なし	a	異常なし	b	機能・性能低下に至っていない	土砂堆積	-	-	-	-	
28	山上	A	2	AHB-1	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし		
29	山上	A	3	AHB-2	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし		
30	山上	A	4	AHB-3	A'	対策不要	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし		
31	山上	C	13	BHB-1	B'	経過観察	a	異常なし	b	機能・性能低下に至っていない	1/7本損傷	a	異常なし	a	異常なし	a	異常なし	

地すべり防止施設ロングリスト【横ボーリング】 2 / 2

通し番号	地区名	ブロック名	施設		施設健全度評価		施設点検結果			総合評価					完成年月	経過年数	施工会社	点検実施日	点検者	備考			
			番号	備考	評価	対応	総合所見	集水管本数	集水量合計 (ℓ/min)	排水量合計 (ℓ/min)	健全度										維持補修 対策費用 (百万円)	備考	
											H28	H33	H38	H43									H48
1	覚寺	A-3	19.20	19横ボーリング	A'	対策不要	変状なし	8		6.6	A'						H6	22		H28/11/30	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
2	覚寺	A-3	21.22.23	21横ボーリング	B'	経過観察	3箇所の導水管が脱落しているが、集水機能に異常は見られない。導水管の補修(接続)で対応可能である。流末処理の修繕対策が望まれる。	8		0	B'							H6	22		H28/11/30	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)	
3	覚寺	A-4	27.28	27横ボーリング	A'	対策不要	変状なし	7		1.2	A'						H5	23		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
4	覚寺	A-4	29.30.31	29横ボーリング	B'	経過観察	集水機能に異常は見られない。流末処理の修繕対策が望まれる。	6		4.1	B'						H5	23		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
5	覚寺	A-4	32.33.34	32横ボーリング	B'	経過観察	4箇所の導水管が脱落しているが、集水機能に異常は見られない。導水管の補修(接続)で対応可能である。流末処理の修繕対策が望まれる。	10		0.4	B'						H6	22		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
6	覚寺	A-5	38.39	38横ボーリング	A'	対策不要	変状なし	8		滴下	A'						H4	24		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
7	覚寺	A-5	40.41.42	40横ボーリング	B'	経過観察	集水機能に異常は見られない。孔口保護擁壁集水樹の修繕対策が望まれる。	11		0	B'						H5	23		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
8	覚寺	A-6	47.48	47横ボーリング	B'	経過観察	1箇所の集水管及び導水管に孔口閉塞が確認できる。集水機能に異常は見られない。集水管及び導水管の修繕対策が望まれる。	9		1.0	B'						H3	25		H28/11/28	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
9	覚寺	A-6	49.50.51	49横ボーリング	C2'	要対策	8箇所の導水管が脱落しているが、集水機能に異常は見られない。導水管の補修(接続)で対応可能である。流末処理の修繕対策が望まれる。	10		2.0	C2'						H5	23		H28/11/28	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
10	覚寺	D	58.59	58横ボーリング	B'	経過観察	集水機能に異常は見られない。孔口保護擁壁集水樹の修繕対策が望まれる。	14		6.2	B'						H13	15		H28/11/29	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
28	山上	A	2	AHB-1	A'	対策不要	変状なし	8		2.79	A'						H2	26		H28/12/5	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
29	山上	A	3	AHB-2	A'	対策不要	地域住民によって導水施設が設置されているが変状は見られない。	7		10.08	A'						H2	26		H28/12/5	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
30	山上	A	4	AHB-3	A'	対策不要	地域住民によって導水施設が設置されているが変状は見られない。	7		0.41	A'						H1.2	26.27		H28/12/5	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		
31	山上	C	13	BHB-1	B'	経過観察	No.5の導水管が損傷しているが、集水機能の異常は見られない。	7		2.99	B'						S63	28		H28/12/5	いであれ 液利 異常点 対策 (その1)		

その他_台帳について

現地点検時において現地の施設と台帳が整合しているかメモを残しておくこと。
今後の台帳の修正に役立てる

地すべり防止施設台帳

様式2.地区・施設の諸元

施設番号	測線	工種	付帯工	規格・寸法・数量	竣工年度	状況	備考
1	その他施設	9	告知板	支柱2本		良好	告知版は確認できるが、 支柱はすべて亡失と思われる
2	A-1測線	2	集水井工(W-2)	φ=3500, H=20.0m	平成8年度	現地で確認できる	規格・数量は※台帳による。 実施工の規格・数量は不明
3	A-1測線	4	上段集水Bor	L=60~65m/本, n=5本, ΣL= 44.0m 305.0m	平成9年度		規格・数量は台帳による。
4	A-1測線		下段集水Bor	L=50~60m/本 n=6本, ΣL= 44.0m 535.0m	平成8,9年度		規格・数量は台帳による。
5	A-1測線	3	排水Bor	L= 39.1m 44.0m 10本	平成8年度		規格・数量は台帳による。
6	A-1測線	5	水路工 確認できず	ΣL=147.75m	平成3年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
7	A-1測線		水路工 確認できず	ΣL=132.5m	平成10年度	水路工に計上 確認できる	規格・数量は台帳による。
8	A-1測線		水路工 確認できず	U型, L=115.1m	平成12年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
9	A-1測線		水路工 確認できず	U型, L=115.1m	平成12年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
10	A-1測線		明暗渠工 確認できず	L=35.5m	平成12年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
11	A-1測線	5	水路工	コルゲートフリューム350, L=16.7m	平成12年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
12	A-1測線		管暗渠 A2-4支	φ200ポリエチレン管 L= 2.0m 6.4m	平成12年度	水路工に計上 確認できる	規格・数量は台帳による。
13	A-1測線		U型側溝	B300-H350 L= 1.7m 2.0m	平成12年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
14	A-2測線	2	集水井工(W-4)	φ=3500, H=15.0m 13本	平成7年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。
15	A-2測線	4	上段集水Bor	L= 60~65m 20~40m/本, n=5本, ΣL= 44.0m 375.0m	平成7年度		規格・数量は台帳による。
16	A-2測線		下段集水Bor	L= 50~60m 15~35m/本 n=6本, ΣL= 44.0m 240.0m	平成7年度		規格・数量は台帳による。
17	A-2測線	3	排水Bor	L=39.1m 10本	平成7年度		規格・数量は台帳による。
18	A-2測線	5	水路工 確認できず	L=106.75m 規格不明	平成7年度	平成9年度 水路工に計上	規格・数量は台帳による。
19	A-3測線	4	横ポーリング(下部集水bor)	L=40m/本 n=8本, ΣL=320.0m	平成6年度	現地で確認できる	規格・数量は台帳による。

※台帳・地すべり防止区域台帳(昭和61年)東部国土整備局資料